



苗雲

大口高校だより



鹿児島県立
大口高等学校

〒895-2511 伊佐市大口里 2670
TEL 0995-22-1441 FAX 0995-22-9227

イギリスでも大好評！ 大口高校米（マイ）クッキー

昨年の文化祭でお披露目をした大口高校米（マイ）クッキー。マスコミにも大きく取り上げられたこともあって、今や伊佐市の新たな特産品になりつつあります。8月には鹿児島市天文館のセンテラススクエアで開催された高校生マルシェにも出店し、10月に開催されたかごしま国体のカヌー競技会場でも販売して、全国に大口高校と伊佐市をPRしました。

そうした中、このたび海を越えたイギリスでも大口高校米（マイ）クッキーが大人気という情報が寄せられました。ロンドン在住のAdrian Burbanksと夫人のAyaさん、そして3人の子どもの米粉クッキーの美味しさにビックリ。Adrianは「このテイストなら、ビスケットの本場イギリスでも十分通用する。グルテンフリーというのも素晴らしい。」、鹿児島出身のAyaさんは「故郷の自然や人々のことを思い出し、感激しながら食べました。」とのコメントを寄せてくださいました。



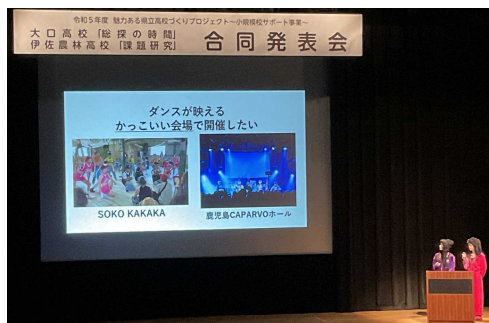
Adrian & Aya

大口高校「総探」・伊佐農林高校「課題研究」合同発表会

1月17日、伊佐市文化会館大ホールにて、大口高校の「総合的な探究の時間」と伊佐農林高校の「課題研究」の合同発表会を開催しました。県教育委員会が進める「魅力ある県立高校づくりプロジェクト」の小規模校サポート事業の一環として実施したものです。

本校からは、3年生の川原咲蘭さんと溝口葉菜さんが「伊佐市の新たな特産品開発～大口高校米（マイ）クッキーの挑戦」、同じく3年生の加治屋花楓さんと松野有垂さんが「ダンスイベントで街を元気に！」というテーマで発表しました。加治屋さんと松野さんは発表の後に実際にダンスを披露し、会場は大盛り上がりでした。

伊佐市内にある2つの県立学校の生徒が、それぞれの特色のある学習成果を発表し合うことで、お互いに知的刺激を受け、更なる学習の深化につながるものと期待したいです。



5年ぶりの「ロードレース大会」開催

コロナ禍で中止されていた大口高校伝統のロードレース大会が、2月9日に5年ぶりに開催されました。

レースは伊佐地区二輪車普及安全協会の協力を得て、鶴田先生がバイクで先導を務めました。結果は、男子が1位若松陽斗(1年)、2位橋田廉人(1年)、3位中渡旭望(2年)、女子が1位矢嶋空(2年)、2位永田万理香(1年)、3位有村瑠菜(2年)でした。

ところで、なぜ忠元公園を一旦国道まで下って、また坂を駆け上がるコースになっているのでしょうか。それは、約450年前に郷土の武将・新納忠元が郷中教育の柱となる「二才咄格式定目」とい掟を定めましたが、その中にある「山坂達者」という体力作りを奨励する教えに基づいて設定しているからです。

かつて、西郷隆盛や大久保利通などを育んだ郷中教育の質実剛健の教えは、現在ではほとんど聞くことはなくなりましたが、大口高校はその精神をしっかり受け継いでいます。



3年生, 夢に向かってラストスパート

1月13日・14日に3年生6人が鹿児島大学で大学入学共通テストに臨みました。前日の午後から高校の玄関前で出発式を行った後、大型タクシーを貸し切って鹿児島市に向かいました。



試験当日は、天候にも恵まれ、全員いいコンディションで受験できました。現在、2月下旬から3月にかけて実施される二次試験に向けて猛勉強中です。夢に向かって頑張れ!

全国高校生マイプロジェクトアワード

2年生の山下結愛さんは防災に関心を持っており、「総合的な探究の時間」は防災をテーマに活動を進めています。そして、今回「NPOカタリバ」が主催する「全国高校生マイプロジェクトアワード2023」というコンテストに挑戦しています。



発表内容をブラッシュアップするため、1月20日には参加者同士がオンラインで交流を行いました。3月の最終発表(プレゼン)に向けて、頑張ってもらいたいです。

アコースティックLIVE

2月18日、大口元町のミュージックプラザオニツカで開催された「オニツカ・アコースティックLIVE」に、1年生の松永大樹君、武海璃君、羽祢田唯斗君の3人が初出場を果たしました。



はっぴいえんどの「風を見つめて」とビートルズの「All My Loving」の2曲を披露し、聴衆はみな羽子田君の歌声に聴き入っていました。

生徒による校則の見直し

大口高校では、生徒会が中心となって校則の見直しに取り組んでいます。各クラスから上がってきた制服、髪型、単車通学やアルバイト許可などについての意見を生徒会役員で検討しました。



そして、本当に見直しが必要だと思うことを、1月18日にPTAや同窓会役員の方々にプレゼンをして、その妥当性を吟味してもらいました。

総探 1年生テーマ発表会

2月8日、総合的な探究の時間の1年生テーマ発表会が実施されました。伊佐市教育委員会の丸山さんをはじめ伊佐市役所から出席いただきました。これから取り組んでいくテーマについて、方向性や具体的な企画案を自作のフリップを使って発表しました。コーディネータの小仲さんのアドバイスやお互い出した意見も参考にしながら、引き続き活動を展開していくことになります。



学校保健委員会

2月7日に開催された学校保健委員会で、5人の生徒保健委員が、「心の健康とストレスについて」発表しました。



2年生の山下清正君、1年生の山下悼之介君、浜崎暁菜さん、永野凜空君、松井杏奈さんの5人は、昨年11月から全校生徒対象にアンケートを実施するなど準備を進め、年明けからは発表用のスライド作成に取り組んできました。発表内容は、アンケート結果の分析に加え、ストレスに向かい合うための最近の研究結果まで紹介する立派なものでした。

二月二十五日(日)一〇時からイルミネーション取り外しボランティア募集中!

ひろば

若い目特集

伊佐に光照射し活性化努める

大口高3年 田口明日菜
伊佐市では毎年12月に「伊佐にヒカリプロジェクト」という地域活性化のイベントが開かれる。2年生の時は今より伝う程度だったが、高校最後の今回は準備から携わった。案内看板やステッカーのほかに、大口高校のプースで販売するコーヒーマグや紅茶のパッケージ

イラストを描き、オリジナルの缶バッジも作った。

イベントはまじし館周りであり、当日は寒さに加え、強風に見舞われた。コートにマフラー、カイロなど防寒対策を万全にしても耐えられないほどつらかった。でも「大口高校米(マイ)クッキー」やグッズを買い求める方々に温かい声をかけても

らしい、寒さも忘れるくらいうれしかった。

クライマックスのイルミネーション点灯式。冷たい雨の中、ボランティアで飾り付けた明かりが一斉にともった瞬間、胸がいっぱいになった。2月24日まで点灯される予定だ。

私は高校卒業後、地元の企業に就職する。これからも微力ながら、生まれ育った伊佐市の活性化に貢献していきたい。(伊佐市)

R6. 1. 15
南日本新聞

たくちゃんも大絶賛! 大口高校米(マイ)クッキー

2月4日、湧水町の栗野中央公民館で開催された「始良・伊佐地区生涯学習推進大会」で、伊佐市を代表して溝口葉菜さんが、「大口高校米(マイ)クッキーの挑戦」というテーマで活動発表をしました。



当日、講演の講師として来られたMBCタレントの「たくちゃん」こと野口たくおさんが2人の発表を聞いて、クッキーに興味を示されました。実際に食べてみて、その美味しさを大絶賛。「機会があればテレビやラジオでも紹介します。」とのお墨付きをいただきました。

